

2年生 藤蔭講座について

2016年1月27日（水）、6・7限クリエイティブセンターにて、今年も藤蔭講座が行われました。「藤蔭講座」とは、社会の様々な分野で活躍されている本校の卒業生を招いて行なわれる2年生を対象にした講演会です。今年の講師は落語家の桂吉弥先生、アサヒビールの上村和彦先生のお二人でした。（当初、全日空客室乗務員の松本真菜美先生もお願いしておりましたが、お仕事の都合で出席できなくなり、生徒の質問に対するご回答をいただきました。）

桂吉弥先生は「かぜうどん」などの落語をお聞かせいただき、生徒たちは初めて触れる落語に感激し、惹き込まれるように聞いていました。進路に関する話では、「くじけそうになることは何度もあるが、そんな時は必ず誰かが見てくれている」ことを教わりました。

上村和彦先生は、春日丘高校での思い出や歌もまじえながら、これから様々な岐路に立つ生徒たちへ「人間、万事塞翁が馬」「今の自分を残しておく」「小さなNo.1を持つ」とのメッセージを送っていただきました。



以下は生徒の感想からです。

- ・自分がしたいことをよく考えて出した結論は絶対に間違いにはならないんだと思った。自分も大きな分かれ道に立っていると思うので考えて後悔のない選択をしたい。
- ・生きて行く上で自分が想像していなかったような仕事をするかもしれないということがわかった。だから、自分の可能性を狭めずに、いろいろな可能性に挑戦していこうと思った。
- ・慣れてしまって努力しないのはいけないというのが心に残った。
- ・二人は、一期一会やタイミングという、その瞬間を大切にするという共通の考えを持っていて、成功するために大事だと思った。
- ・話を聞いて自分の将来が楽しみになった。しっかり仕事をしたいという気持ちが出てきた。だから今は、我慢して勉強を頑張って大学に入ってやる！と、とても思った。
- ・最後に、小川先生とお二人の楽しそうな会話を見て、20年後、30年後でも高校時代の友人や教師と楽しく話せるように頑張りたいなと思った。あと、CAの松本真菜美さんも沢山の質問にきっちりと回答して下さいありがとうございました。